

公

開

講

座

2012年 空とぶアヒル開講式

ドイツ・メルヘン街道とグリム童話の世界

たけはら たけしげ

奈良教育大学名誉教授

竹原 威 滋

グリム童話初版出版から200年にちなんで、ドイツ・メルヘン街道を辿りながら、グリム兄弟の人生とグリム童話の成立過程を紹介し、伝承メルヘンの魅力に迫ります。

「蛙の王さま」、「いばら姫」を事例に、グリム兄弟がどのようにして「聴くメルヘン」から「読むメルヘン」へ仕立て上げ、今日世界の子どもたちに親しまれるに至ったかを お話しましょう。

それではお話のはじまり、はじまり。



竹原先生プロフィール

■1944年大阪生まれ。1968年大阪市立大学大学院文学研究科修了。

奈良教育大学名誉教授。

■研究分野はドイツ伝承文学で、グリム童話や日欧の民間説話の比較研究に従事。奈良県下で民話調査も実施。また、「奈良の民話を語りつぐ会」の代表として、地域での語りの文化の再生にも取り組んでいる。

「NHK おはなしステージ in なら燈花会」の監修・解説を務める。

■主要著訳書に『世界の龍の話』『グリム童話と近代メルヘン』ほか。

日時 : 2012年 5月 21日 (月)

10時～12時(受付9:45～)

場所 : 総合市民交流センター

5F 視聴覚室 資料代 700円

(JR 高槻下車南東徒歩 3分)

当日は、「空とぶアヒル」の会員登録の手続きをします。

会員希望の方は、年会費 2500円をお支払いください。

※今講座資料代 700円は年会費 2500円に含まれます。

※平成24年講座内容は別紙ご参照ください。

「空とぶアヒル」プロフィール

1995年高槻市女性学級で産声をあげた学習グループで17年を迎えます。

おはなしボランティア、家庭文庫、学童保育、子育て中のお母さんなど子どもの文化に関心を持ち、活動している人たちの交流の場であり、学習するグループです。月1回の学習会を行い、学んだことを保育所、幼稚園、小学校、図書館、地域などで実践しています。